

令和2年度 第1回 図書館協議会 会議録

1 日 時

令和2年7月31日（金）午後2時00分～午後3時00分

2 場 所

ラトブ4階 いわき総合図書館 学習室

3 出席者

(1) 委 員

窪木委員、藁谷委員、草野（千）委員、柳田委員、草野（祐）委員、豊田委員、
小野委員、有賀委員、藤谷委員、松井委員

(2) 事務局

ア いわき総合図書館

館長、吉田副館長、大浦副館長、主任主査、総務管理係長、情報資料係長

イ 地区図書館

小名浜図書館長、勿来図書館副館長、常磐図書館長、内郷図書館長、
四倉図書館長

4 委員長、副委員長の選出

5 議事

(1) 報告事項

ア 新型コロナウイルス感染症対策への対応について

イ 令和元年度図書館運営実績等について

（ア）実績統計

（イ）事業実施報告

ウ 令和2年度図書館運営方針等について

（ア）運営方針及び主要事業

（イ）事業計画

（ウ）移動図書館運行計画

1 開会

(委員の出席は10人となり委員定数10人の半数以上となっていることから、図書館協議会規則第4条第1項の規定により、本日の会議は成立している。)

2 委嘱状交付

藁谷晴美 新委員に委嘱状を交付した。

3 図書館協議会の概要

事務局より、会議資料4～5頁に基づき説明した。(総務管理係長)

4 委員長、副委員長の選出

図書館協議会規則第2条第2項の規定による委員の互選により、委員長に草野チエ子委員、副委員長に小野順一委員が選出された。

5 議事

図書館協議会規則第2条第3項の規定により、草野委員長が議長となり、会議を進行した。

(1) 報告事項

ア 新型コロナウイルス感染症対策への対応について

事務局より、会議資料6頁に基づき説明した。(総務管理係長)

イ 令和元年度図書館運営実績等について

(ア) 実績統計

事務局より、会議資料7～14頁に基づき説明した。(総務管理係長)

(イ) 事業実施報告

事務局より、会議資料15～23頁に基づき説明した。(情報資料係長)

ウ 令和2年度図書館運営方針等について

(ア) 運営方針及び主要事業

事務局より、会議資料24～26頁に基づき説明した。(大浦副館長)

(イ) 事業計画

事務局より、会議資料27～31頁に基づき説明した。(主任主査)

(ウ) 移動図書館運行計画

事務局より、会議資料32～33頁に基づき説明した。(主任主査)

(意見、質疑応答)

委員：国立国会図書館との連携については理解できたが、福島県立図書館との連携はあるのか。

事務局：研修会や本の相互貸借などで日常的に連携しています。また、県立図書館は、県内の図書館の状況を把握して情報発信等してくれていますので、新型コロナウイルス対応時には、毎日のように情報交換していました。

委員：視聴覚の資料について、リクエストを受け付けているのか。

事務局：視聴覚資料については、リクエストを受け付けておりません。職員が資料を選定して入れています。

委員：「おはなし会」が再開に向けて検討中とのことだが、どのような形で再開するのか。コロナ禍の状況で、本来なら対面が望ましい形ではあるが、オンライン等の形なども検討しているのか。

事務局：詳細については未定であります。基本的なコロナの感染対策を考えながら実施していく方向で検討中です。

委員：「あかちゃんへのおはなしかい」が今秋に予定されているが、妊娠中、胎児期にお話を聞かせてあげることが大事であり、いわきで進んでいけばよいと考えている。この事業の対象に、妊婦さんを加えることは可能か。

事務局：子ども読書活動推進計画の中で考えており、こども支援課でのプレパパ・プレママ事業の中で、図書館から参考図書の情報を提供する等、何か参画できないか検討しています。

委員：ボランティアの人数、団体数はいくつぐらいか。

事務局：総合図書館では、個人で図書館ボランティアとして登録していますが、地区図書館においては、それぞれおはなし会のボランティアとして五つのグループがあります。総合図書館支援ボランティアは15人登録されており、おはなし会や手作り絵本の会などで協力をいただいています。

委員：子どもには早くに図書に触れさせることが本当に大事である。あるテレビ番組に絵本作家の「ヨシタケシンスケ」氏が登場し、親子を対象に読み聞かせを行っていた。子どもは楽しそうに聞いており、親は頷きながら聞いて

たりと、雰囲気がとても良かった。やはり子どもの読書は、親と一緒に読んであげたほうが効果があるのかと、思いを新たにしました。

委員：市内の高校の大半が団体登録しており、調べものなどで大量の本が必要となった際に利用させていただいている。そこで、インターネットサービス用のパスワードを、小中学校のように、高校にも発行してほしいとの願いがある。

事務局：速やかに対応したいと思います。

委員：いわき市と茨城県北4市との広域利用促進とあるが、実際に連携して行っているものはあるのか。

事務局：それぞれの図書館で利用カードを作成し、その図書館を利用できるというサービスが始まっています。それまでは相互貸借でしか利用できなかったものが、実際にその図書館に行って本を選ぶことができます。利用者からは、相互貸借ではこの本ありきだったが、広域利用では、書架に行くことでこんな本があったのかと、本との出会いになったとの話をいただくこともありました。

委員：小学校への貸出しや、研修、見学学習など、市立図書館にはさまざまな形でお世話になっている。学校図書館から市のたくさんの本がある大きな図書館に行くことが、子どもたちにとって魅力的になっているものと感じている。御礼も兼ねて、今後ともよろしく願いたい。

委員：幼稚園から支援学校まで、読み聞かせに行っている。子どもたちが小さな頃から、両親、祖父母などとともに活字に触れることで、成長しても自らの足で図書館に出向くようになると思う。貸出冊数が減少傾向にあるのは、紙面よりデジタルを活用している人が多くなっているのかなと残念に思う。紙をめくる楽しさというのは、お腹の中にいる時から音で感じるものであると思うし、ぜひそのような機会を図書館として作ってほしい。

委員：今、コロナ禍にあつていろいろな要望を出しすぎると図書館の対応も大変だろうと感じるので、まずはコロナに感染させないことを第一に考えたい。最大限業務を進めていただきたい。

委員：いわき地域学会の講師としてさまざま協力させていただいているが、これからは若い世代の会員の活用もお願いしたい。

委員：昨年度は多くの事業を実施したということで素晴らしいなと感じた。今年度はコロナ禍もあって、なかなか昨年同様の事業実施は難しいが、その中であって、また来年度に深化できるような事業があれば、この時期を有効に活用できるのではと思う。声の奉仕グループでは、対面朗読が図書館で行われている。今年度はまだ実施できていないので、落ち着いたら再開していただきたいと願っている。

6 その他

特になし

7 閉会